10周年を迎えての思い出と歩んできた道

会員№８　大郷町川内　**小野　昭男**

私は、会社を退職した際、第２の人生を考えていたところ、シルバー人材センターへ発足と同時に入会しました。

山間地で生まれ育った事もあり下刈機除草作業を主に担当し町内隅々まで会員仲間と安全作業を確認しつつ仕事の後の整理整頓に心がけ「帰宅したなら笑顔で報告できるよう」を合言葉に就業してまいりました。

その中でもシルバー人材センターの役員として県内外へ研修に出向いた際の交換会での話し合いが何よりの思い出となっています。

美しい春夏秋冬のはっきりとした大郷町、住みよい町美しい街づくりには、当センターの活動が必要不可欠です。東京五輪と記念すべき年に10周年を迎えることは、大変慶ばしいことと思っております。

これからの課題として会員の増加と強化が必要です。今までのキャリアを活かしつつ微力ではありますが尽くしてまいりたいと考えております。依頼者から“ありがとうご苦労さんでした”と言ってくださった方々に感謝しつつ10周年のお祝いの言葉と致します。

シルバー人材センターの10年をふりかえり

会員№67　大郷町大松沢　**三浦かよ子**

シルバー人材センターに入会し、早10年となりました。その間草取、アパートの清掃等の作業又富谷市ＳＣで講習を受けた障子張りを即実践したこと、剪定講習会を受講し楽しかったこと等が思い出されます。

女性部会長として作品展を企画し、私の得意とする一針一針愛をこめての布看板作り、つるしかざり、タペストリーなどいろいろ手をかけて企画してきました。昨年は、コロナ禍により中止となりがっかりしましたが、また作品展を企画実行したいと思います。これからシルバー人材センターが益々飛躍することを祈りつつ、楽しく生きがいのある活動をしていきたいと思います。

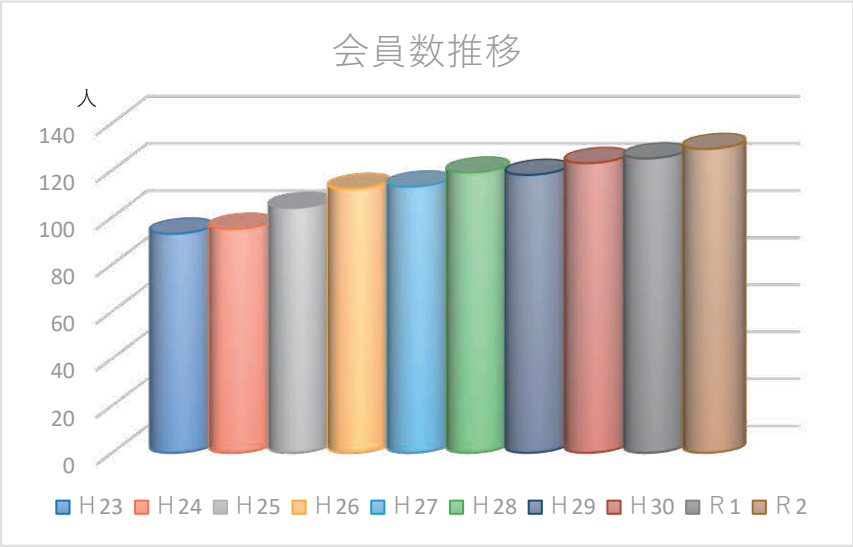
設立10周年、自分は入会何年になるだろう

会員№118　大郷町川内　**若菱　雅之**

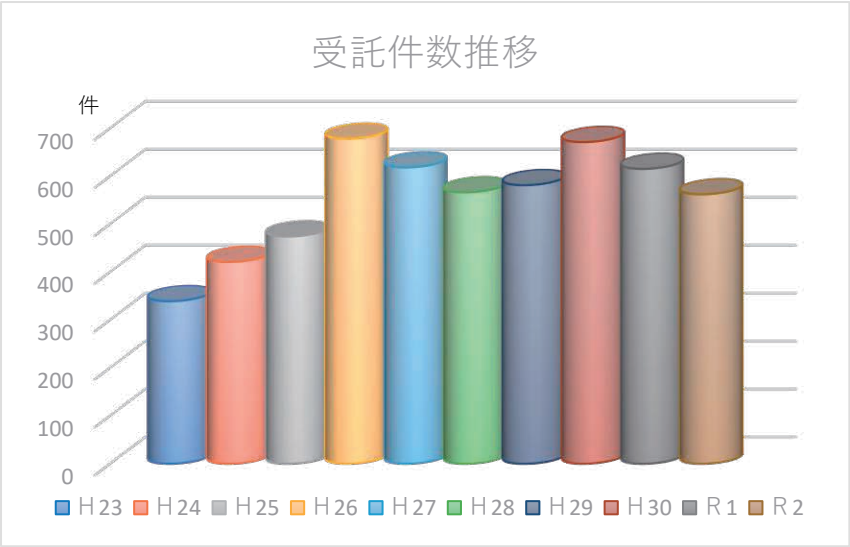
若い頃、８時からその夜は徹夜、次の日も夜10時位まで働く事が何十回も有った。日曜日も月一度あれば良い方だった。

今、若い者が自分だけが不幸と感じ非行に走る。そんな時代なのかも知れない。自分は遊びを優先し、グラウンドゴルフを楽しみその間に仕事を入れる。事務局は大変だろうけれども、自分の出来る時だけ仕事をしている。誠に勝手きわまりないけど、これもシルバー人材センターの良いところではないだろうか。川内にいる自分が大松沢その他の多くの地域の方々、色々な世代と休憩の時間やミーティングの時に楽しく話が出来る。一番楽しい時間かもしれない。

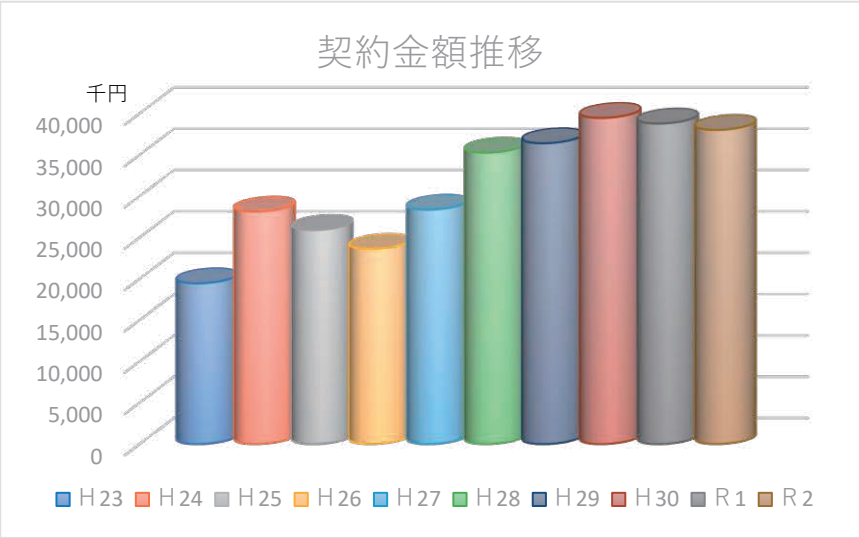
数字で見る１０年のあゆみ



年度	人	前年比
H23	93	―
H24	95	102.2%
H25	104	109.5%
H26	112	107.7%
H27	113	100.9%
H28	119	105.3%
H29	118	99.2%
H30	123	104.2%
R1	125	101.6%
R2	129	103.2%



年度	件	前年比
H23	339	―
H24	421	124.2%
H25	474	112.6%
H26	678	143.0%
H27	618	91.2%
H28	566	91.6%
H29	581	102.7%
H30	671	115.5%
R1	615	91.7%
R2	562	91.4%



年度	千円	前年比
H23	19,444	―
H24	28,124	144.6%
H25	25,892	92.1%
H26	23,601	91.2%
H27	28,353	120.1%
H28	35,253	124.3%
H29	36,392	103.2%
H30	39,451	108.4%
R1	38,775	98.3%
R2	38,007	98.0%

事務局職員として

事務局　係長　山口　良恵

設立に向けて・・・定款の認証と法人登記のため、何度も何度も各機関に足を運んだ事、規程の整備に頻回の準備委員会で検討を重ねた事、開設周知のため知識不足ながら説明会を実施した事。多くの失敗を繰り返し、近隣センターの先輩に教示いただいた職員としての礎が今に繋がっています。

業務開始・・・大震災の業務への影響の不安は、ＮＰＯ法人これから会から入会された会員の皆さんが率先して就業を引き継いで下さった事で乗り越えられたと感じています。

経験を重ねて・・・実績拡大を目標に事業内容の幅を広げ、深みを求められる時期に。ガイドライン遵守・コンプライアンス強化を図り、町と国の補助団体として目の前の安全確保を第一に努めなければならないと思っています。

設立十年・・・年齢で言えばようやく小学校高学年。中学校入学に向け、大郷町ＳＣらしさを活かし一歩一歩進みたいものです。

令和２年12月
大郷中学校より
メッセージ

編集後記

パンデミックのコロナ禍で一般社団法人大郷町シルバー人材センターが10周年という節目を迎え皆様のご協力で記念事業を開催できましたことに深く感謝申し上げます。

記念誌「10年間の軌跡」は年度毎の事業内容と県内外の研修で切磋琢磨し人力を尽くしてくださいました役員名と会員活動の写真、風景を搭載させていただきました。又会員皆様のたゆまぬ精神と努力でシルバー人材センターの理念「自主・自立、共働・共助」を基に遂行してきました。「P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）」の実践成果の概要を10年間グラフ化し紹介させていただきました。

今年は、史上ないコロナ禍での復興五輪ではありましたが世界205ヵ国と難民チーム参加、世界168ヵ国のパラリンピック参加で世界の若者が選手として一堂に会し極限の飛翔で感動の渦を湧かせ世界の「連帯と平和」「希望」のメッセージを強く強く競技で示してくれました。

当シルバー人材センターも地域貢献を継続しながら後進世代の育成を担いつつ希望の未来へと邁進したいと存じます。

厳しい社会情勢ではありますが、今後とも地域の皆様、関係機関の皆様のご協力、ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

（一社）大郷町シルバー人材センター創立10周年記念事業準備委員会
委員長　佐々木年子

創立10周年記念事業準備委員会

委員長	佐々木年子	委員(事務局)	武内　政志
副委員長	佐々木　孝		山口　良恵
委員	大久保知明		佐々木達彦
	小野　昭男		吉田はるみ
	繁名さき子		
	高橋　幸子		
	繁名　　盛		
	鈴木久美子		

創立10周年記念誌　軌跡

発行日　令和３年11月12日
編　集　大郷町シルバー人材センター
　　創立10周年記念事業準備委員会
発　行　一般社団法人　大郷町シルバー人材センター
　　〒981-3502　黒川郡大郷町粕川字東長崎31-7
　　TEL 022-739-9336　FAX 022-739-9376
印　刷　有限会社 中村印刷